

夫婦の情景

「肥満が心配です」といって、佐藤さんは私のクリニックを受診しました。「奥さんからサギだと言われませんか？」と話す、「妻が私に食べさせたので、こんなに太ってしまった。妻の責任ですよ」とのこと。私のクリニックには、ご夫婦で来院される方がたくさんいます。ご夫婦ともに糖尿病や高脂血症、肥満、高血圧などの生活習慣病をかかえています。肥満の人に減量してもらうときには、「ご主人（または奥さん）に、断らなくていいのですか」と聞くことにしています。「やせてもらうことは医療側にとっては大歓迎ですが、『太ったあなたが好き』なんて言われていると、やせて、夫婦仲が悪くなるとは困りますから」と私はいつも話しています。

ご夫婦で来られる方は、だいたいのご主人が先に診察室に入ってきます。2週間に1度、糖尿病と不整脈で来院している大林さんの場合、「大林さん、今日は血糖値が高いですね。食前で163mg/dlもありますよ。なぜこんなに血糖が上がったのでしょうか」とたずねると、ご主人は「先生、何も食べ過ぎてないのに、何で血糖が上がっているのでしょうか〜？」とのこと。腕組みまでして、「ウ〜ン、運動もしているし、原因不明だなあ〜」と言って私の診察室から出て行きます。次いで奥さんが入ってきました。奥さんも

糖尿病と肥満で通院中です。「奥さん、ご主人は、なぜ血糖が上がったのかわからないと言っていますが、なぜですか？」とたずねると、「先生、食べ過ぎですよ！何度言ってもやめないんです。孫がくれることを良いことにしていくらでも。食べてないというのはウソです」私はこのように毎月、大林さんのご主人にダマされているのです。

井坂さんご夫婦は、ご主人が糖尿病、奥さんが高血圧症で通院しています。ご夫婦はいつも一緒に診察室に入ってきます。ご両人が同時に話を始めます。ご主人はまず、人生の話をされます。奥さんは、お父さんが食事に気を付けていないことを話します。私は聖徳太子ではないので、内容の違うおふたりの話をいっぺんに聞くのは大変です。ご主人は、好きなように生きることの大切さを私に説き続けます。しかし、よ〜く聞いていると、奥さんがご主人の食事療法を守っていないことを私に説明して、ご主人がその言い訳のために人生の話をしているということがわかってきました。これを2週間に1度聞いているわけです。

この二組のご夫婦に共通していることは、奥さんはご主人の健康をとっても心配しているということです。こんなに心配してもらうご主人たちは、幸せだなあと思います。